

学習日 月 日 年 組 番 氏名

1 次の表は、A中学校の1年1組と学年全体について、ある日の家庭学習時間を調べ、その結果を度数分布表にまとめたものである。そのとき、次の間に答えなさい。(p.204)

階級 (分)	度数(人)	
	1年1組	学年全体
以上 未満		
0 ~ 30	0	0
30 ~ 60	1	2
60 ~ 90	6	14
90 ~ 120	9	32
120 ~ 150	12	52
150 ~ 180	10	48
180 ~ 210	2	12
210 ~ 240	0	0
計	40	160

(1) 次の(ア)~(ウ)にことばを入れなさい。

上の度数分布表のように、全体の度数が異なる資料を比べるときは、度数の代わりに、度数の合計に対する割合を用いるとよい。すなわち

(ア )

(イ )

を用いる。このようにして求めた値を

(ウ )という。

(ウ )を用いることで、ある階級の全体に対する割合がわかる。

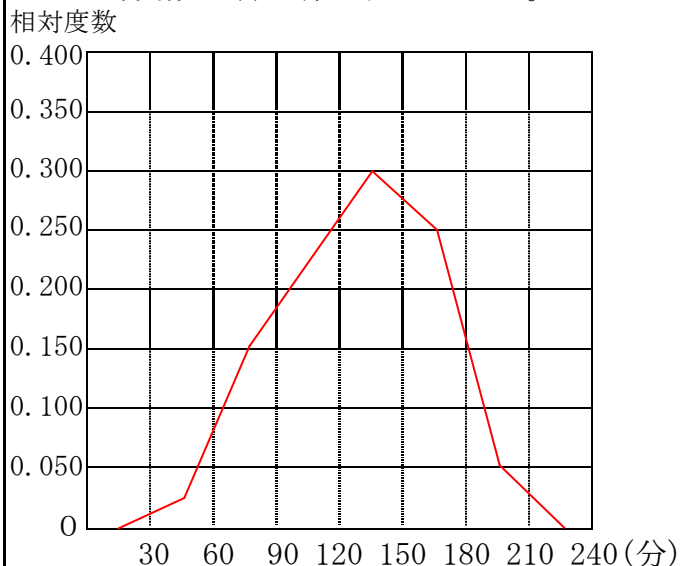
(2) 学年全体の家庭学習時間についての相対度数を、電卓を使って求め、次の表に書き入れなさい。ただし、小数第4位まで求めなさい。



階級 (分)	1年1組	学年全体
	相対度数	相対度数
以上 未満		
0 ~ 30	0.000	
30 ~ 60	0.025	
60 ~ 90	0.150	
90 ~ 120	0.225	
120 ~ 150	0.300	
150 ~ 180	0.250	
180 ~ 210	0.050	
210 ~ 240	0.000	
計	1.000	

(3) A中学校の1年1組と学年全体の家庭学習時間で、120分未満の家庭学習時間の割合を比べて、わかることを書きなさい。

(4) 次の図は、1年1組の家庭学習時間について、各階級の相対度数を折れ線に表したものである。学年全体の家庭学習時間について、各階級の相対度数を折れ線に表しなさい。



1

階 級 (分)	度数(人)	
	1年1組	学年全体
以上 未満		
0 ~ 30	0	0
30 ~ 60	1	2
60 ~ 90	6	14
90 ~ 120	8	32
120 ~ 150	12	52
150 ~ 180	10	48
180 ~ 210	2	12
210 ~ 240	0	0
計	40	160

(1)

上の度数分布表のように、全体の度数が異なる資料を比べるときは、度数の代わりに、度数の合計に対する割合を用いるとよい。すなわち

(ア その階級の度数 )

(イ 度数の合計 )

を用いる。このようにして求めた値を

(ウ 相対度数 )という。

(ウ 相対度数 )を用いることで、ある階級の全体に対する割合がわかる。

(2)

階 級 (分)	1年1組	学年全体
	相対度数	相対度数
以上 未満		
0 ~ 30	0.000	0.0000
30 ~ 60	0.025	0.0125
60 ~ 90	0.150	0.0875
90 ~ 120	0.225	0.2000
120 ~ 150	0.300	0.3250
150 ~ 180	0.250	0.3000
180 ~ 210	0.050	0.0750
210 ~ 240	0.000	0.0000
計	1.000	1.0000

(3)

解答例

1年1組の生徒の方が、学年全体より学習時間が120分未満の生徒の割合が多い。

(4)

相対度数

